

北海道浮魚ニュース

平成 17(2005)年度 21 号 (通巻 No.210)

2005 年 9 月 30 日

北海道立水産試験場

ホームページ : http://www.fishexp.pref.hokkaido.jp/ukiuo/uki_index.htm

道東太平洋～知床半島周辺海域スルメイカ資源調査結果

- ・調査期間：2005 年 9 月 26～30 日 (海難事故捜索活動のため調査を縮小しました)
- ・調査海域：道東太平洋～知床半島周辺海域
- ・調査船：北辰丸 (釧路水産試験場), イカ釣機 6 台装備

知床半島周辺でスルメイカ確認

1. 調査点の水温

道東太平洋沿岸域の 3 調査点の表面水温は 12.4～15.1 , 知床半島周辺海域の 3 調査点の表面水温は 14.7～17.0 でした。

2 スルメイカの分布密度 (図 1)

スルメイカの CPUE は, 道東太平洋沿岸域の 3 調査点で 0～0.03, 知床半島周辺海域の 3 調査点で 0～3.24 でした。知床岬の近くで, 比較的, 分布密度が高い調査点がありました。

(注)スルメイカの分布密度は CPUE(自動イカ釣機 1 台 1 時間当たりの漁獲尾数)で示しています。

3 .スルメイカの大きさ (図 2)

知床半島周辺海域で漁獲されたスルメイカの外套長(胴長)組成のモードは 20cm で, 前年 10 月の調査時よりも大きさがそろっていました。

(文責：釧路水産試験場資源管理部,
TEL:0154-23-6222,
FAX:0154-23-6225)

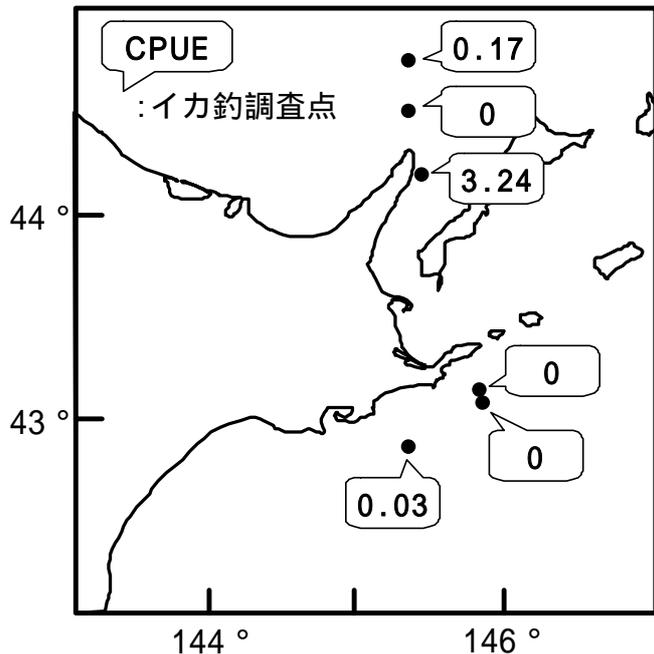


図 1 道東太平洋～知床半島周辺海域におけるスルメイカの分布密度 (CPUE: 自動イカ釣機 1 台 1 時間当たりの漁獲尾数)

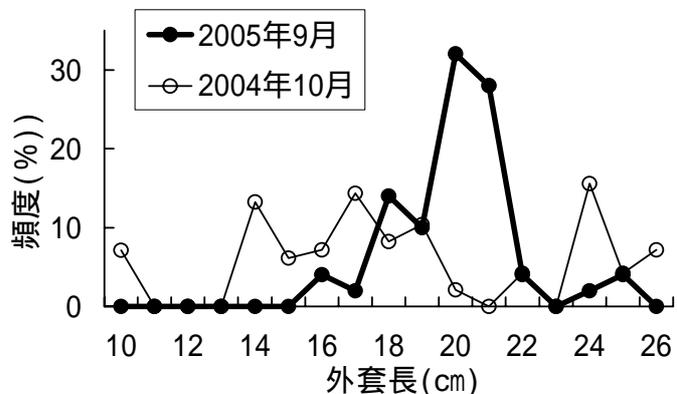


図 2 知床半島周辺海域で漁獲されたスルメイカの外套長組成